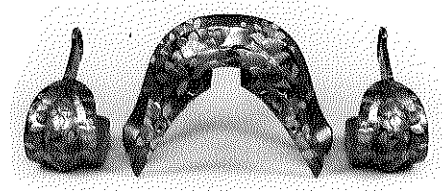


テーマ展
井伊家伝来の馬具

平成21年(2009年)9月4日(金)～9月28日(月) 展示室1

くろ あがみ くつわ
鞍や鐙、轡などの馬具は、武士にとって必須の道具であり、贈答品として用いられることもありました。彦根藩主井伊家では、黒漆に家紋を表した式正の鞍をはじめ、大名に相応しい馬具が調えられました。本展では、將軍からの拝領品を含む様々な伝来の馬具を紹介するとともに、鞍の多彩な漆芸技法に注目します。



ギャラリートーク 9月5日(土) 午後2時～ 学芸員 高木文恵

直弼発見! 巻の9

井伊直弼の茶の湯—好みの道具—

平成21年(2009年)10月1日(木)～10月26日(月) 展示室1

藤原定家の和歌に着想を得た「月次茶器」や、自詠の和歌や詩句を記した茶道具、自らの手で作った楽焼茶道具、「見立て」によって新たに茶道具としての生命を吹き込まれた道具など。井伊直弼が好み、愛でた道具の数々に、稀代の大名茶人の美意識を探ります。



ギャラリートーク 10月3日(土) 午後2時～ 学芸員 小井川理



直弼発見! 特別企画展

政治の時代—井伊直弼と幕末の群像—

平成21年(2009年)10月30日(金)～11月29日(日) 展示室1～3

西洋列強国から開国を迫られ、人びとの政治意識が高揚した幕末日本。

国の将来をめぐって激しい政争が繰り広げられた直弼の大老政治の様相を、直弼と対立した人びとの視点を交えて紹介します。

*詳しくは次ページをご覧ください。

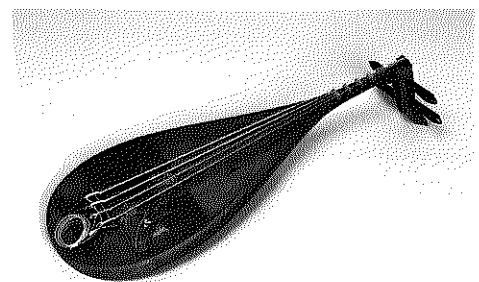
テーマ展

日本の楽器—井伊家伝来雅楽器から—

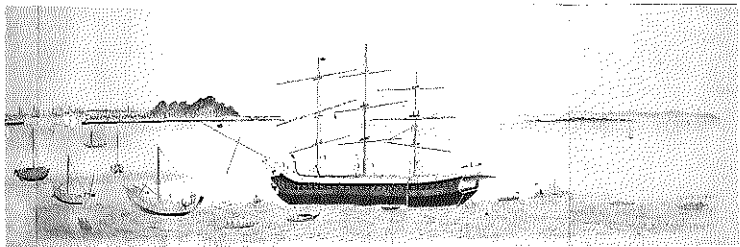
平成21年(2009年)12月3日(木)～12月22日(火) 展示室1

井伊家伝来の琵琶は29面もの多くを数えます。この中から、鎌倉～江戸時代の代表作を紹介するとともに、撥や楽譜などもあわせて展示します。

ギャラリートーク 12月5日(土) 午後2時～ 学芸員 高木文恵



江戸時代後半、19世紀に入ると、欧米列強諸国のアジア進出が顕著となり、日本列島近海にもロシアやアメリカ等の船が頻繁に現れ、やがて嘉永6年(1853)のペリーの来航の事態を迎え、軍事的緊張が高まります。そうした中、幕政・藩政に携わる為政者たちの政治意識が高まる一方で、従来、幕政に参加できなかった朝廷をはじめ、外様大名、下級武士らの人々が、国の行く末を憂慮する強い意識から、攘夷論や開国論に代表されるように、



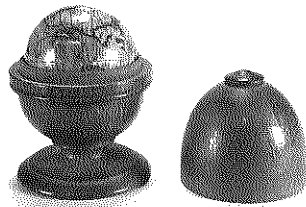
天保山魯船図 神戸市立博物館蔵

国家に対して政治意見を述べるようになりました。幕末期は、人びとの政治意識がいちじるしく高揚し、政治が社会全体に広がるとともに先鋭化し、この大きな流れが社会変革へと向かっていった、まさに「政治の時代」であったといえます。

このような時代背景の中で、嘉永3年(1850)に彦根藩主となった直弼は、幕府における井伊家の役割を礎に、対外的危機の状況に向き合う中で育まれた強い問題意識に支えられ、積極的な政治行動をとりました。やがて、直弼は將軍の側近大名グループである溜詰大名として幕政に意見を述べ、譜代大名の政治グループ南紀派の中心人物となり、ついには、安政5年(1858)、幕府大老に就任し、將軍継嗣問題や開国問題で揺れる幕政の舵取りを任せられ、激しい政争をともなう難局に立ち向かっていくこととなります。

直弼は体制維持派、守旧派の政治家とも評されますが、直弼が大老の地位を最大限に活かした手法により政治を行ったことに注目すると、直弼もやはり「政治の時代」が生み出した、変革期の政治家であったと評価することができます。

本展では、直弼と同時代に生きた政治的人物に関する日本各地の作品や史料と、幕末政治の一級史料である「彦根藩井伊家文書」(重要文化財)を一同に展示することにより、幕末の「政治の時代」の様相を明らかにするとともに、政治家井伊直弼を捉え直すことにより、より豊かな井伊直弼像を提示します。



地球儀 島津斉彬所用
尚古集成館蔵

本展では、直弼と同時代に生きた政治的人物に関する日本各地の作品や史料と、幕末政治の一級史料である「彦根藩井伊家文書」(重要文化財)を一同に展示することにより、幕末の「政治の時代」の様相を明らかにするとともに、政治家井伊直弼を捉え直すことにより、より豊かな井伊直弼像を提示します。

～展示の構成～

(1) 藩主井伊直弼の政治

- ①武門の家 井伊家
- ②欧米列強国の日本来航
- ③大名の外交意見
- ④京都守護 井伊家

(2) 溜詰大名井伊直弼と

幕府政治

- ①將軍権力
- ②政治勢力としての溜詰大名・南紀派
- ③一橋派
- ④二つの争点

—將軍継嗣問題と条約調印問題—

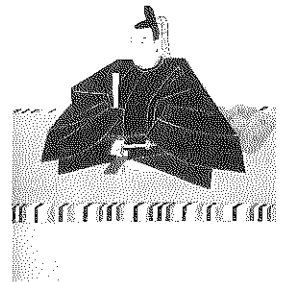
⑤朝廷権威の浮上

(3) 大老井伊直弼の政治

- ①大老直弼の政治手法
- ②日米修好通商条約調印
- ③新たな政治参加者たち
- ④直弼が構想した政治・国家秩序
- ⑤桜田門外の変

(4) 直弼以後

- ①文久2年の政変
- ②開港場横浜の発展
- ③直弼の追慕と顕彰



徳川家定画像
徳川記念財団蔵



波に兎文鎮 徳川家定所用
徳川記念財団蔵

特別企画展
直弼発見! 特別企画展
政治の時代
—井伊直弼と幕末の群像—
2009.10.30 - 11.29
期間中無休

～おもな展示作品～

- モルチール砲 (武雄市歴史資料館蔵)
- 浦賀湾警備状況絵巻 (会津若松市蔵)



井伊直弼画像 豪徳寺蔵

- ペリー一肖像画 (東京国立博物館蔵)
- 島津久光宛島津斉彬書状 (個人蔵)
- 阿部正弘画像 (個人蔵)
- 刀 銘因幡守藤原金辰 井伊直弼奉納 (春日大社蔵)

青糸威具足 (伝徳川家定所用)
(久能山東照宮蔵)

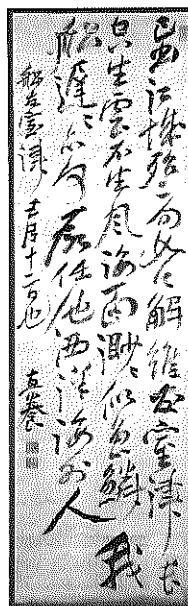
徳川家茂画像 (徳川記念財団蔵)
会津藩主松平容敬画像 (土津神社蔵)
四老公肖像写真衝立
(福井市立郷土歴史博物館蔵)

昨夢紀事 (個人蔵)
孝明天皇和歌懐紙 (尚古集成館蔵)
伊達宗城宛井伊直弼書状
(宇和島伊達文化保存会蔵)

佐久間象山筆 海防八策
(松代文化施設等管理事務所真田宝物館蔵)

吉田松陰画像 (京都大学附属図書館蔵)
大久保利通等宛西郷隆盛書状 (個人蔵)
横浜英吉利西商館図 (横浜版画)
(神奈川県立博物館蔵)

井伊直弼公銅像除幕式報告 (専修大学蔵)



山内容堂書「船出室津」土佐山内家宝物資料館蔵

記念
シンポジウム

「幕末政治のなかの井伊直弼」

11月7日(土)13:30~16:00

当館能舞台見所

近年、開国から幕末、明治維新にいたる激動の歴史については、新たな研究視点の導入や、先入観にとらわれない史料の読み直しにより、これまでの通説的な理解が見直されています。本シンポジウムでは、最新の研究成果をふまえ、幕末の歴史のなかで井伊直弼がどのように位置づけられるのかを考えます。

基調講演 「開国と幕末政治—アジアの伝統社会の視点から—」

井上勝生氏（北海道大学名誉教授）

報告1 「幕末政治の言葉と認識」

青山忠正氏（佛教大学教授）

報告2 「井伊直弼の政治」

羽賀祥二氏（名古屋大学教授）

資料代100円（展示をご覧の際には観覧料が必要） 定員120名
事前申込制（→【申込方法】参照） 先着順
申込受付開始日～締切日 10月7日(水)～10月31日(土)

講演会 &
ギャラリートーク

「井伊直弼とライバルたち」

11月14日(土)14:00~15:30

当館講堂・特別企画展会場

井伊直弼の大老政治においては、水戸藩徳川斉昭、薩摩藩島津斉彬、宇和島藩伊達宗城、土佐藩山内豊信（容堂）、福井藩松平慶永（春嶽）らの諸大名との間で、激しい政争が繰り広げられました。幕末の政治舞台では、直弼と政治的ライバルの個性がどのようにぶつかり合ったのでしょうか。本講演会では、展覧会担当学芸員が、彼らの個性を伝える手紙やゆかりの品などの展示作品に即し、幕末期の政治のあり方を解説します。通常のギャラリートークより長めの講演です。激動の時代に生きた人びとの息づかいに触れたい方におすすめします。

講師 渡辺恒一（当館学芸員）

資料代100円（別途観覧料が必要） 定員80名
事前申込制（→【申込方法】参照） 先着順
申込受付開始日～締切日 10月14日(水)～11月7日(土)

ギャラリートーク

「政治の時代—井伊直弼と幕末の群像—」

10月31日(土)14:00~15:00

特別企画展会場

展覧会担当学芸員が、展示作品のレクチャーを行います。展示作品それぞれの見どころを知りたい方におすすめします。

講師 渡辺恒一（当館学芸員）

聴講無料（別途観覧料が必要）

当日当館講堂に集合（事前申込は不要）

はくぶつかんへ
行こう

「直弼かるたで遊ぼう!」

小学生 11月14日(土)10:00~12:00

対象 当館講堂・特別企画展会場

彦根城博物館特製「直弼かるた」で遊びながら、井伊直弼の生涯や事蹟を学びます。特別企画展会場の見学もあるよ!

参加無料 定員30名

事前申込制（→【申込方法】参照） 先着順

申込受付締切日 10月30日(金)

【申込方法】～記念シンポジウム 講演会&ギャラリートーク はくぶつかんへ行こう～

往復はがき往信の裏面に、住所・氏名・電話番号と参加希望の事業名を、返信の表面に住所・氏名（「はくぶつかんへ行こう」申し込みは、氏名のふりがなと学年も）を記入し、彦根城博物館学芸史料課（〒522-0061 滋賀県彦根市金亀町1番1号）へお送りください。先着順に受講票をお送りしま

す。定員に達し次第締め切ります。当日消印有効。

*往復はがきは、1事業につき1枚、1人につき1枚とします。

*各事業で申込締切日が異なりますのでご注意ください。

直弼かるた 作成中!

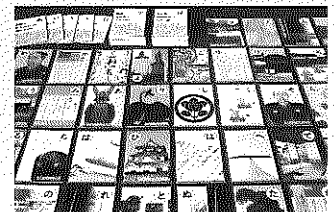
平成20・21年度に彦根市で開催中の「井伊直弼と開国150年祭」。当館では、このイベントを機会に小学生にも「井伊直弼」という歴史上の人物に親しんでもらおうと、平成20年度の小学生対象教室「はくぶつかんへ行こう」で当館特製の「直弼かるた」を作りました。このかるた、職員と支援スタッフの手作りのため、教室で使う分の7セットしか作ることができませんでした。

このたび、多くの方に直弼の生涯や成し遂げた仕事を知っていただくために、直弼に関する特別企画展の開催に合わせて、広く皆さんに手にとっていた

だけのような「直弼かるた」の制作を行うことになりました。現在、編集作業中です。

秋の特別企画展が始まる頃には、新装なった「かるた」が登場する予定です。この「かるた」を使った小学生対象の教室も予定しています（詳しくは上の記事をご覧ください）。

2年間のイベントの記念として、是非「直弼かるた」もご覧いただけたいと思います。



スケジュール

9月	10月	11月	12月
<p>5± ギャラリートーク 「井伊家伝来の馬具」</p> <p>12± はくぶつかんへ行こう③ 「するする飾り結び・ちよきちよき紋切り」</p> <p>19± 古文書のみかた(初級)⑥</p> <p>26± 井伊直弼と開国150年記念講演会 「直弼銅像と近代日本」</p>	<p>3± ギャラリートーク 「井伊直弼の茶の湯 —好みの道具—」</p> <p>17± 第43回 彦根城能</p> <p>24± 古文書のみかた(中級)①</p> <p>31± ギャラリートーク 「政治の時代 —井伊直弼と幕末の群像—」</p>	<p>7± 特別企画展シンポジウム 「幕末政治の中の井伊直弼」</p> <p>14± はくぶつかんへ行こう④ 「直弼かるたで遊ぼう!」</p> <p>14± 特別企画展 講演会&ギャラリートーク 「井伊直弼とライバルたち」</p> <p>21± 古文書のみかた(中級)②</p>	<p>5± ギャラリートーク 「日本の楽器・琵琶 —井伊家伝来雅楽器から—」</p> <p>19± 古文書のみかた(中級)③</p>
<p>テーマ展 「井伊家伝来の馬具」 9/4 金～9/28 月</p>	<p>直弼発見! 巻の9 「井伊直弼の茶の湯 —好みの道具—」 10/1 木～10/26 月</p>	<p>直弼発見! 特別企画展 「政治の時代 —井伊直弼と幕末の群像—」 10/30 金～11/29 日</p>	<p>テーマ展 「日本の楽器・琵琶 —井伊家伝来雅楽器から—」 12/3 木～12/22 火</p>

12/25 金～31 木 休館

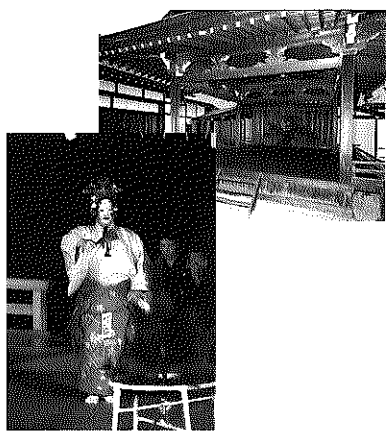
展示 “ほんもの”との出会い —井伊家伝来の名宝を中心に80点あまりを展示—
*9/1～3, 28～30, 10/26～29, 11/30～12/3, 12/22～24は展示替のため一部閉室

催し

江戸時代に建てられた能舞台で
古典芸能をお楽しみください。

第43回
彦根城能

10月17日(土)
午後4時開演
当館 能舞台



演目・出演

- ◆金春流 能「忠^{ただ}度^{のり}」 本田 光洋 ほか
- ◆大蔵流狂言「茶^{ちや}壺^{つぼ}」 善竹 忠一郎 ほか
- ◆金春流 能「羽^は衣^{ころも}」 金春 安明 ほか

9月17日(木)チケット発売開始 当館受付および電話予約にてお求めいただけます

全席指定 A席5,500円 B席5,000円

発売初日は、窓口販売を午前9時、電話予約を午前10時から開始します。
*お1人様、チケット6枚までお求めいただけます。
*開演時刻・演目・出演者等は、都合によりやむなく変更することがございますので、ご了承ください。
*未就学児の入場はお断りいたします。

「古文書のみかた(中級)」受講生募集

平成21年度の教室「古文書のみかた(中級)」を開講します。古文書解読の基礎を身につけている方を対象に、読解能力をさらに高めることを目標とする教室です。

開催日時：10月24日、11月21日、12月19日、平成22年1月16日、2月20日、3月20日(全6回、いずれも土曜日)の14:00～16:00

対象：当館の「古文書のみかた(初級)」を受講された方や、他の機関等で古文書解読の基礎を学ばれた方

資料代：500円
会場：当館 講堂
応募方法：

往復ハガキ(1人につき1枚)の往信に住所・氏名・電話番号を、復信の宛名面に住所・氏名を明記の上、お申し込みください。

募集期間：平成21年9月1日(火)～9月30日(水)
※定員50名を超えた場合は抽選となります。

【申込・お問い合わせ先】
〒522-0061 彦根市金亀町1番1号
彦根城博物館「古文書のみかた(中級)」係
TEL:0749-22-6100